

## 輸血部ニュース

発行：広島大学病院 輸血部

編集：輸血部長 藤井輝久

内容に関するお問い合わせ：

5581（輸血部長室）または teruchan@hiroshima-u.ac.jp

### 本院の輸血実施手順をご確認下さい！

この度、本院で“異型輸血”のインシデントが発生しました。輸血施行者が間違いに気づき素早く対応したので、(異型の)血液が患者さんに入ったか微妙なレベルで、かつ患者さんに何の有害事象も発生しませんでした。

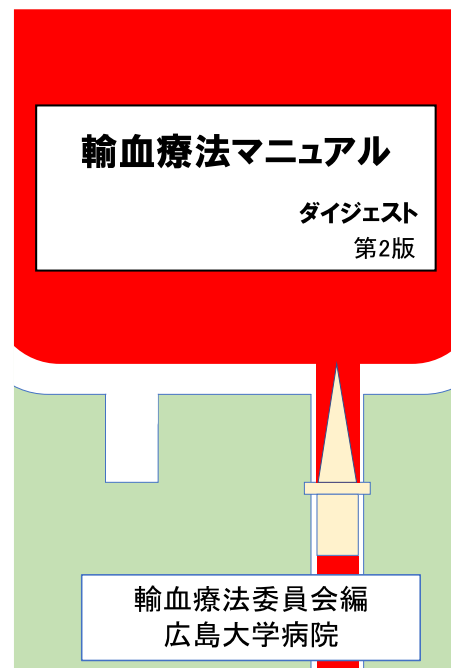
今回のケースは“AB型の患者”だったため、“異型”でも赤血球は全て適合になるので、例え輸血されたとしても、急性溶血反応等の重篤な副反応は起きません。しかしながら、それは単に“ラッキー”ただだけで、「当該患者さん用に準備された輸血用血液」以外の輸血を行ったことは、重大なインシデントと言えます。

今後、このようなことのないよう、本院の輸血療法マニュアル（電子カルテログイン後、“院内情報 web”⇒“各種マニュアル”⇒“輸血”内）を再度ご確認ください。またポケットサイズの“輸血療法マニュアルダイジェスト版”もありますので、ご要望の方はお知らせ下さい。

#### 【図1: ABO 不適合輸血の組み合わせ】

ABO不適合輸血	
患者ABO型	輸血製剤ABO型
O型	← A型またはB型またはAB型
A型	← B型またはAB型
B型	← A型またはAB型

#### 【図2: 輸血療法マニュアルダイジェスト版】



手術室、HCU, NICU, ICU, ECU など、1ベッド1端末で紐付けされている部門以外の一般病棟における輸血認証は、PDAで行うことを推奨しています。PDAで読み込むバーコードは、「輸血実施者・確認者 ID, 患者リストバンド, 血液製剤3ヶ所（製剤の血液型, 製剤コード, 製造番号）」の各バーコードになります。必ず患者のベッドサイドで認証の上、輸血を開始して下さい。

手術室では ORSYS, HCU, NICU, ICU, ECU では ACSYS 画面での入力になります。電子カルテの“輸血実施前認証”で認証はできませんので、ご注意下さい。また認証後は速やかに輸血を開始して下さい。

## 輸血用血液の病棟保管はできません！

本来輸血用血液は、輸血部搬出後速やかに使用するものであり、“手元に置いておく”ものではありません。もし、使用しないと判断した場合には、他の患者へ転用しますので“搬出後1時間以内”に輸血部へ返却をお願いします。

ECU/ICUには、輸血専用保冷庫があります。当該病棟では、1患者に対して数バッグの輸血が行われることが多い部門ですが、1



【ECU/ICUの輸血専用保冷庫】

バッグずつ輸血を行う場合の“輸血までの間の保管”に使用するために設置しています。また当該部門では1時間以内に返却できない事情もあるかと存じますので、未使用製剤を保管しておいていただければ、翌日輸血部職員が回収に廻らせていただきます。

手術室には、専用の保冷バッグで製剤をお届け致します。運用は、ECU/ICUの輸血専用保冷庫と同じです。使用までは保冷バッグから出さずに保管して下さい。また手術で未使用製剤が出た場合には、他部門・病棟へ持参することなく、速やかに輸血部まで保冷バッグに入れた状態で、返却をお願いします。



【手術室内専用輸血搬送バッグ】

(SICUも含め他部門へ持ち込み禁)

## 自己血輸血製剤のオーダー忘れに気をつけて下さい

予定手術の前に、貯血式自己血採血をオーダーされる診療科もあるかと存じます。この度、術中に使う貯血式自己血製剤のオーダーがされておらず、それが要因となったインシデントが発生しました。

時間外だったこともあり、慣れていない当直者が手順を誤ったことも要因ですが、そもそも当該患者さんの手術日に自己血の「輸血製剤依頼」がなされていませんでした。

本院の電子カルテは、「自己血採血依頼」したからと言って、自動的に手術日に「輸血製剤依頼」されている仕様にはなっていません。何卒再度ご確認の上、手術日の(自己血)「輸血製剤依頼」を行って下さい。

